

南砺市公営住宅等長寿命化計画

平成 24 年 2 月

平成 29 年 3 月（第 1 回変更）

令和 2 年 2 月（第 2 回変更）

令和 2 年 12 月（第 3 回変更）

令和 5 年 3 月（第 4 回変更）

令和 6 年 1 月（第 5 回変更）

令和 6 年 12 月（第 6 回変更）

1. 公営住宅等ストックの状況

(公営住宅等管理戸数)

今回、計画の対象としている公営住宅等は、24 団地、65 棟である。最も管理戸数が多いのは、福光地区であり、14 棟で 165 戸、次に福野地区で 8 棟 164 戸を管理している。

(構造、耐用年数「戸数別」)

建設年度別にみると、平成 2 年～11 年が最も多く 30%を占めており、次いで昭和 55 年～平成元年が 29%、平成 12～21 年が 21%を占めている。

構造別にみると、中高層耐火構造が最も多く 79%を占めており、次いで木造が 13%占めている。

公営住宅等の耐用年数超過状況を見ると、庚申塚住宅のみ耐用年数を超過している。

(法規制状況)

法規制の指定状況は、半数の 12 団地において用途未指定地域に建てられており、次いで第一種住居地域が 10 団地、第二種住居地域と近隣商業地域がそれぞれ 1 団地となっている。

(住戸規模状況)

平均住戸規模は、60～70 ㎡ 未満が最も多く 46%を占めている。その一方で、40 ㎡ 未満の狭小住戸も 5 団地 25 戸で見られる。

(公営住宅等の整備状況)

改善が行われている公営住宅等は 10 団地あり、長寿命化型、居住性向上型の改善を行っている。

整備状況では、エレベータが設置されている公営住宅等は 4 団地である。また、シルバーハウジングは 2 団地 20 戸が整備されている。

(入居状況)

入居率は 80%を超えている公営住宅等は 11 団地あるが、全体的に減少傾向にある。